TOTO

<お得意様[水工店・工務店]様向け>

施工・使用方法に起因するトラブル防止情報

「陶器表面につく黒色・銀色のスジ状の汚れ」のお知らせ

事　　象

陶器表面に黒色又は銀色
のスジが発生した。

原　　因

施工や掃除の際に、金属類で陶器表面を擦ったことにより、スジ状に跡がついたものです。

※金属類の例

①ベルトのバックル　②腕時計　③指輪
④ブラシについている金具　など

≪参考≫陶器表面はガラス質です。
「陶器の内部から浮き出てくる」など、経年劣化により同事象が発生することはありません。

これで解決

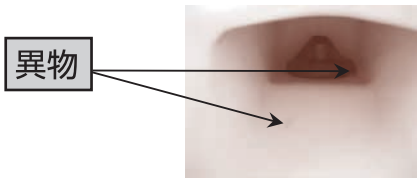
以下の方法で、スジ状の跡を除去して下さい。

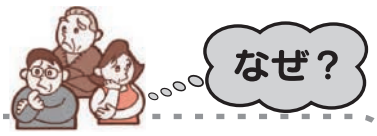
●硬い棒などに巻きつけた布に研磨剤入りの洗剤 （トイレマジックリンなど） を塗布して、 力をいれて しっかりと擦る。

「大便器設置直後、ボウル内に付着物が残る」のお知らせ

事　象

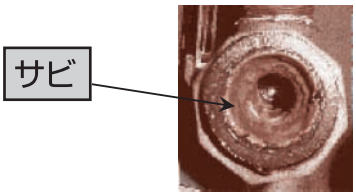
大便器を設置した直後、大便器ボウル面の底に、黒色又は赤茶色の異物が付着している。





原　因

給水管内部のサビが剥がれて便器内に流れ込んで便器に付着した「もらいサビ」が発生したためです。
給水管内にサビがあれば、新築・リモデルに関わらず発生します。



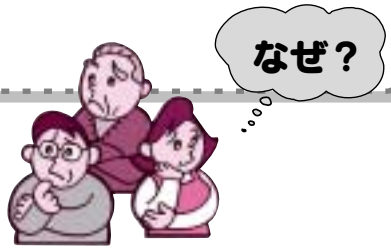
これで解決

1. 給水管内のサビを取り除いてください。その方法としては、止水栓を取り付ける前に、立ち上がっている給水管にホースを差し込み、バケツや排水管に水を捨て流して下さい。
2. 大便器取り付け後、便器洗浄を何度か繰り返してください。
   サビが便器ボウル内に出てきた場合は都度取り除いてください。
3. 使い始め直後は、「もらいサビ」が出る可能性がある旨を客様にお伝え願います。
4. 発生直後はトイレブラシで簡単に除去できます。

「腰掛便器はかま内結露」のお知らせ

事　　象

腰掛便器の床設置面が不定期に濡れる。

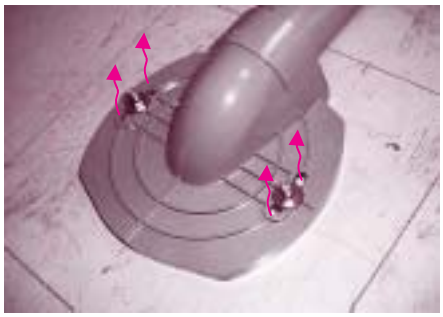


原　　因

排水管と床との間に隙間がある場合（下写真左）排水ソケット（アジャスタ）の固定ボルト部分や排水ソケットと床の隙間などから、床下の空気がはかま内に入り込み、湿度・温度の条件によっては、はかま内部に結露が発生することがあります。

排水管と床の隙間

床下の空気の流入



これで解決

①排水ソケットが外れる場合
（排水管に接着されていない）

直接シリコンで排水管と床との隙間を埋める
※排水ソケットは排水管に接着することをおすすめします

②排水ソケットが外れない場合
（排水管に接着されている）

排水ソケット固定部と周囲をシリコンで埋める

「排水塩ビ管シール不良で臭気が上がってくる」のお知らせ

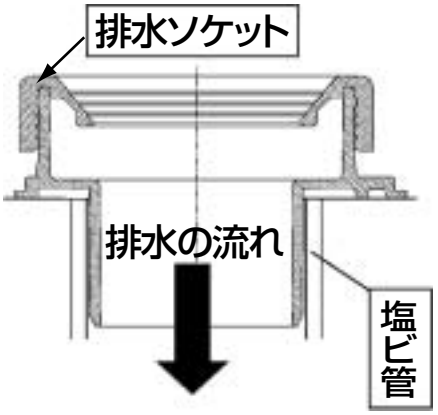
事　　象

便器袴付近より臭気が発生した。

原　　因

内径接着するタイプの便器排水ソケットを排水塩ビ管に接合した時に、嵌合が甘くてシール不良となったものです。

これは、塩ビ管の内径寸法のばらつきによって排水塩ビ管と排水ソケットとの嵌合が甘くなりシール不良となって、臭気が上がってくることが あるものです。



これで解決

塩ビ部品の接着部の嵌合が甘い場合は、中大口径用の高粘度接着剤を使用することで、シール不良となることを防ぐことが可能です。
中大口径用の高粘度接着剤は、各塩ビ管 メーカ等より、販売されておりますが、参考までに右のものを紹介します。

《ご注意》
高粘度の接着剤は、一般的に低粘度のものと比較して遅乾性です。接着後、通水までに数時間の養生時間をとっていただくようお願いいたします。

旭有機材工業　AV接着剤

「壁排水便器（Pタイプ）」施工のポイントのお知らせ

施工のポイント

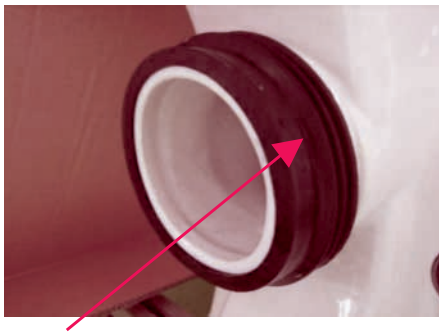
壁排水便器（Pタイプ）排水口と排水接続管の接続時の施工ポイントをお知らせします。

便器の排水口と家屋の排水管を繋ぐ部材として、以下のような接続管があります。（一部紹介）

これらを便器の排水口に差し込む際、パッキンと接続管との接触面に摩擦が生じ、接続が容易ではありません。あるいは、パッキンがずれ込んで接続管からはみ出す事象が発生することがあります。

ポイント　石けん水を塗布してください（すべりやすくなります）

接続管の内側、あるいはパッキン外周に石けん水を塗布し、接続してください。挿入がスムーズになり、作業が容易にできます。



スポンジなどに石けん水を含ませ、接続前に塗る

「エアーハンマーによる便器破損」のお知らせ

事　　象

フラッシュバルブ使用の便器について、断水復帰後に便器洗浄を行った際、便器の通水路が突然破裂し破損した。

（腰掛便器破損例）

（和風便器破損例）

原　　因

断水した場合など、給水管内にエアーだまりが発生することがあります。復帰後の水圧でそのエアーが圧縮され、そのまま便器洗浄を行うと圧縮空気が便器の通水路内に供給され、その瞬間に一気に膨張します。その衝撃をエアーハンマーと言い、この事象によって上の写真のように便器の破損が発生することがあります。

これで解決

給水配管に空気抜き弁がある場合は、便器洗浄前にエアー抜きを行ってください。

ない場合は、同一配管上の他器具から先に水を流し、エアーを取り除いてください。

洗面化粧台「洗面器前面に黒い線がある」のお知らせ

事　　象

洗面器前面に鉛筆で書いたような黒い線がある。

対象:洗面化粧台全般

原　　因

開梱後の荷扱いや施工時に、洗面器前面にベルトのバックルなど金属類が接触したためです。

【参考】
洗面器の表面硬度は鉄の3倍ほどあるので、洗面器と金属が接触した場合、金属が付着して黒い線になることがあります。

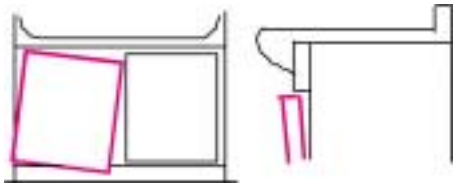
これで解決

「ピカール」など市販の研磨剤をやわらかい布などに付け、できるだけ陶器に傷を付けないよう注意しながら磨いてください。

洗面化粧台「扉の隙間が均一でない」のお知らせ

事　　象

扉の隙間が均一でない・段差がある。



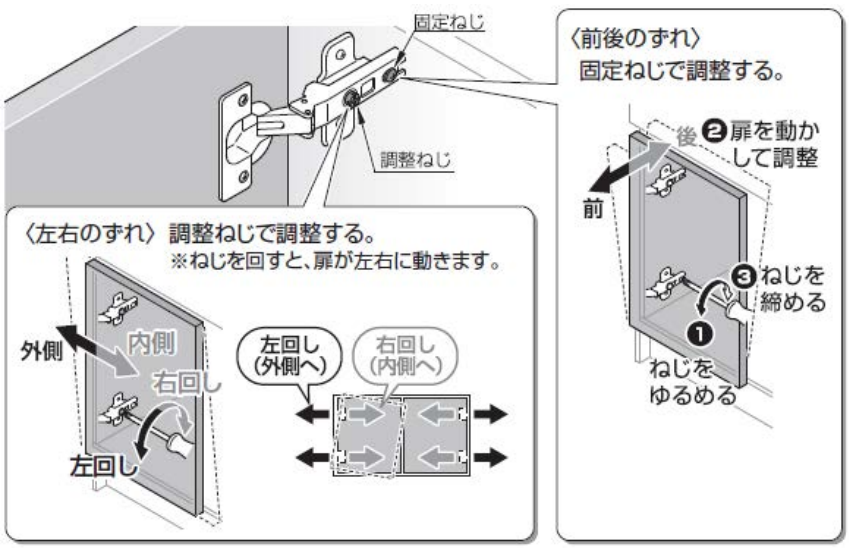
対象：洗面化粧台全般

原　　因

床や壁の水平度・垂直度の影響によるものです。

これで解決

**扉がズレている時は、施工説明書に従い
丁番で調整をしてください。
(施工時に必ず確認・調整をお願いします)**



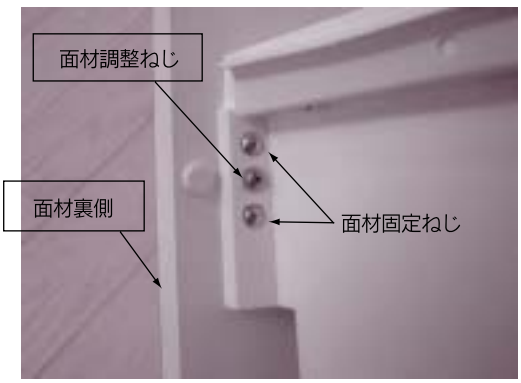
「洗面化粧台キャビネット 引出し調整」施工のポイントのお知らせ

施工のポイント

洗面化粧台のキャビネット引き出し面材の調整方法をおしらせします。

ポイント　**引出し面材裏側の調整ねじを緩めて面材の位置を調整することが出来ます。**

①引き出しを取り出し、面材調整ねじを少し緩めてください。
※面材調整ねじは左右1個ずつあります。
※面材固定ねじは緩める必要はありません。
②引出しを収納し、面材の隙間が均一になるように調整してください。
※面材の調整巾は、上下左右に1.0mmとなっています。
③位置が決まったら、調整ねじを締めて面材を固定してください。
取り扱い説明書にも、調整方法が掲載されています。



お願い　洗面化粧台の扉／引出しの隙間や段差は、工場で調整してから出荷しておりますが、設置場所の躯体の影響などで隙間が変わってしまう場合があります。設置後は必ず、隙間や段差がないかをご確認願います。

「元止め式電気温水器の水栓組合せ」施工ポイントのお知らせ

施工のポイント

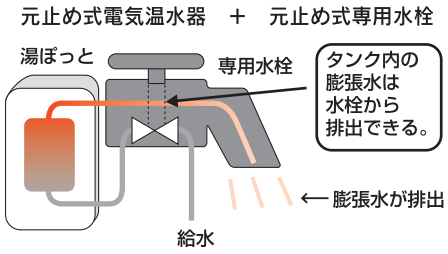
「元止め式電気温水器を設置する際の施工のポイントについてご紹介します。」

対象品番： REAH06/REAK06

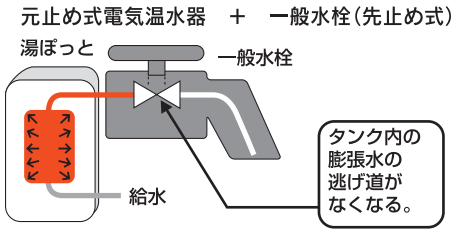
ポイント1　元止め式電気温水器には必ず専用水栓をご使用ください

機種選定の際元止め式電気温水器には、必ず元止め式専用水栓をご使用ください。

○



×



内部タンクが破裂して漏水している状態

元止め式専用水栓を使用しなかったために、沸かし上げ時の膨張水が排水されず、電気温水器のタンクの内圧が上昇し、タンクが変形・漏水にいたります。漏水して拡大被害を発生させる可能性もあります。

※タンクから漏水すると、その周辺にある器具や床まで被水させ、お客様に甚大な被害を与えてしまいます。

その他

電気温水器の場合、必ず膨張水を排水させる必要があります。
元止め式水栓の先端に浄水器を取付けたり、先止め式電気温水器の膨張水排水口を塞ぐことも、上記と同様に漏水の原因となりますので、ご注意下さい。

UB/SB「もらいサビ･キズ防止」のお知らせ

事　象

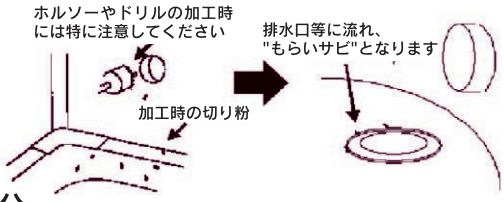
浴室内にもらいサビ･キズ破損が発生する。

原　因

■もらいサビ

施工中:清掃が不十分。器具取り付け時の鉄粉が残っている。

施工後:リモコン、換気扇等を取り付ける際に発生する鉄粉の清掃が不十分。

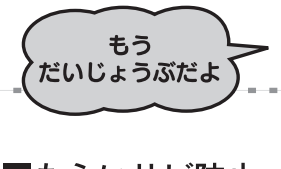


■キズ破損

施工中:養生が不十分。

施工後:浴室内に工具等が置かれ、床や壁に傷がつく。

養生が不十分な状態



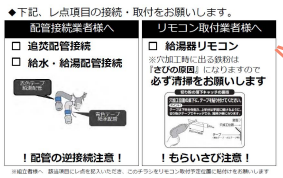
これで解決

■もらいサビ防止

施工中:①清掃を必ず行い鉄粉を除去してください。

②同梱している「もらいサビ･キズ注意チラシ」をリモコン取り付け位置に貼り付けてください。

施工後:浴室で作業を行う時は作業後の清掃を必ず行い鉄粉を除去してください。



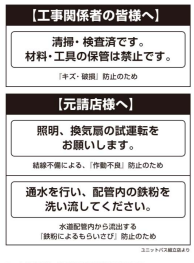
■キズ破損防止

施工中:①壁･床等に養生を行いキズ破損を防止してください。

②同梱している「清掃･検査済チラシ」をドアに張り付けてください。

施工後:浴室内へ材料･工具の保管はしないでください。

壁･床等に養生を行ってください



浴槽排水時「ゴボゴボと音がする」「排水に時間がかかる」のお知らせ

事　　象

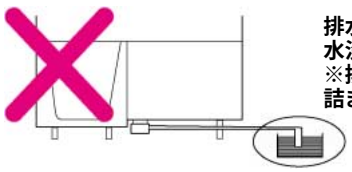
浴槽で排水した時「ゴボゴボと音がする」・
「排水に時間がかかる」。

対象:ユニットバス全般

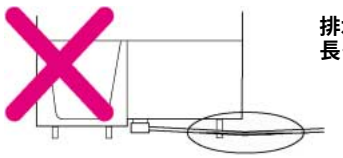
原　　因

排水管が排水マスの溜水に水没しているなど、ユニットバス内の
排水トラップとは別にトラップを形成しているためです。（2重トラップ）

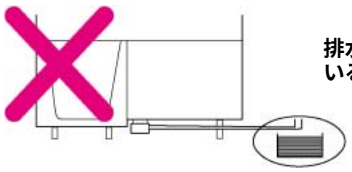
[不具合例]



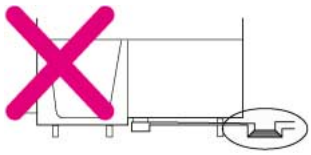
排水管が排水マスの溜水に
水没している
※排水マス以降の排水管が
詰まっている場合等に発生



排水管の横引が極端に
長く途中がたわんでいる

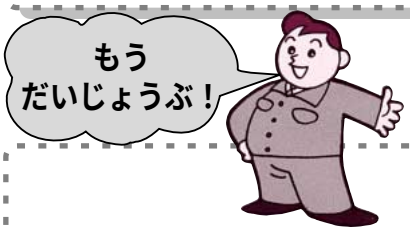


排水管の出口が上を向いて
いる



排水管が一度下に曲がる
形状になっている

2重トラップが原因で起こるその他の事象
- 洗場に流した水が浴槽の排水口から逆流する。
- 浴槽水を排水するとトラップカバーが持ち上がる。
- トラップ内部の水位が極端に上がったり下がったりする。



これで解決

下記対応により2重トラップの状態を解消してください。

①排水マス以降の排水管のつまりを取り除き、排水管が水没しないようにする。
②排水管の途中に水たまりができることがないようにする。

施工後、『浴槽リムが割れる・タイルが割れる・エプロンが飛び出す』のお知らせ

事　　象

施工後に、浴槽リムが割れた・タイルが割れた・エプロンが飛び出した。

※ 写真はタイル割れとエプロン飛び出しの例です。

※ 対象:樹脂浴槽

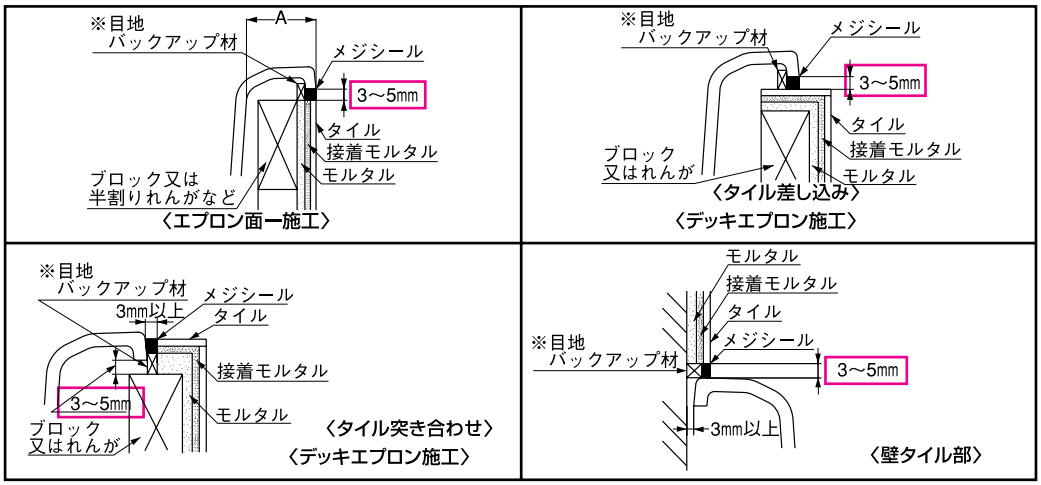
原　　因

浴槽リム部と建築躯体との間にクリアランスを確保せず、モルタルなどで埋め戻しされている場合に浴槽が膨張収縮し、タイル・エプロンに応力が加わったためです。

これで解決

浴槽の設置は建築躯体から必ず3mm以上クリアランスを設けた上で目地シールを充填してください。

ネオエクセレントバス、ニューグライトバスF、いものホーローバス、ポリバスの場合



サーモスタットシャワー水栓
「給水・給湯圧力」施工のポイントのお知らせ

施工のポイント

サーモスタットシャワー水栓を施工いただく
ときに、注意いただきたいポイントを
お知らせします。

対象品番：サーモスタット水栓全般

ポイント1　給水圧力 ≧ 給湯圧力にしてください。

◆給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、
同圧にしてください。
◆給湯圧力を高くすると正常な温度調節が
できなくなり、やけどをするおそれがあります。

ポイント2　0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

◆水栓の最高使用圧力は0.75MPa(静水圧)です。
◆快適に水栓をご使用いただくためには、0.2～0.3MPa程度の
圧力をおすすめします。

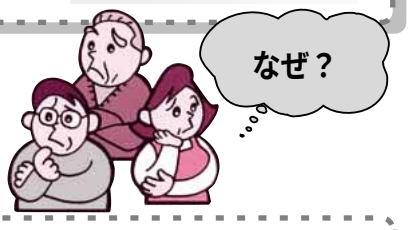
≪補足事項≫
最近、オール電化による電気温水器や自然冷媒ヒートポンプ式給湯器
(通称：エコキュート)が普及しています。
これらの器具では、減圧弁で湯圧が(低い方に)制御される為、
高い水圧の場合、差圧が大きくなる傾向にあります。
ポイント①の通り、同圧をおすすめします。

「新品のサーモスタット水栓で表示どおりの温度にならない」のお知らせ

事　　象

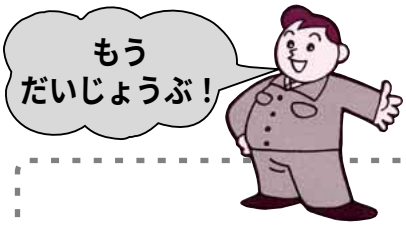
新品のサーモスタット水栓で
表示どおりの吐水温度にならない。

対象品番:サーモスタット水栓全般



原　　因

サーモスタット水栓は、工場で温度調節をして出荷していますが、現場の圧力状況などによって表示どおりの吐水温度にならない場合があります。

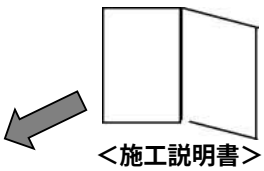


これで解決

現場で温度調節をする必要がありますので、その要領をお知らせします。

1.調節前に次のことを確認します。

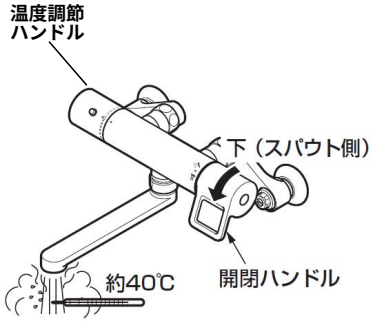
① 止水栓は全開になっているか。
② フィルターのごみづまりはないか。
③ 使用する温度より 高めのお湯がきているか。



＜施工説明書＞

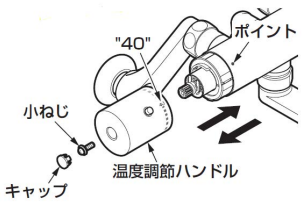
2.温度調節をします。

（1）



①40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回します。
（ハンドルの目盛に関係なく）

（2）



②ハンドルが回らないように注意して
キャップ・小ねじを外して
ハンドルを抜き取ってください。

③目盛り"40"の文字とポイントをあわせて
温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで
固定しキャップを取り付けてください。